

Our Promise

輝く星を つくります。

2022年、全国の高校で新学習指導要領の導入がスタート。

履正社は英語、プログラミング、課題解決型の
探求授業を取り入れた次世代型学力教育を推進し、
めまぐるしく変化する社会に通用する資質・能力を
楽しみながら身につけられる生徒の育成をめざします。

夕暮れの空に広がる天の川。理科部の合宿にて

Point. 1 次世代型学力へのシフト



これからの社会を生きる子どもたちは、いま何を学び、何を身につければよいのでしょうか。それは自ら学ぶ力、より良く生きる力です。知識や情報は、インターネットの普及によって身の回りにあふれています。大事なのは、それらの知識や情報を駆使し、課題を自ら発見・解決していくために必要なスキルを身につけていく姿勢です。

Point. 2 大学入試改革

そこで問われるのは
「知識」「技能」をベースにした

思考力	判断力
表現力	主体性
多様性	協働性

従来の教育で重視されてきた知識習得型の学力観そのものが変わり、大学入試のあり方も、「知識の蓄積を限られた時間で正確にアウトプットする力」を問うスタイルから、「得られる知識を使って、課題を発見し、解決する思考力・判断力・コミュニケーション能力」を問うものになってきています。

出典：首都圏模試センター「こんなに変わる！日本の教育と入試」

Learning Flow

履正社中・高の6年一貫教育フロー

本校では、大学入試で評価される次世代型学力を身につける土台として、「教科の知識」「探究心」「言語技術」の3本柱を設定し、体系的なプログラムに基づく6年一貫教育をおこないます。高校入試はなく、6年間持ち上がりの内部進学コースです。



Timetable 時間割

平日は6限、土曜日は4限授業です。週に1コマ、「言語技術」の時間が6年間設けられます。

	月	火	水	木	金	土
8:30~8:45	早朝テスト(AI学習ソフトの活用)					
1時間目 8:50~9:40	道徳	理科	音楽	社会	数学1	数学1
2時間目 9:50~10:40	理科	体育	数学2	英語	言語技術	英語
3時間目 10:50~11:40	英語	国語1	理科	音楽・美術	国語1	理科
4時間目 11:50~12:40	技術	数学1	社会	国語2	体育	特別活動(HR)
昼休み 12:40~13:25						
5時間目 13:25~14:15	社会	英語	国語2	英語	英語	
6時間目 14:25~15:15	家庭	美術	数学1	体育	数学2	
放課後	部活動or専攻ゼミor帰宅(ICT活用による反転学習)					

※時間割は予定であり、変更の可能性があります。

Interview 教員インタビュー

先生、履正社の中高一貫教育の良さって何ですか？



平賀英児 先生

理科教諭・企画部長

神戸大学天文研究会OB。在校生の約半数が部員として活動している理科部の顧問で、2010年からは関西最大規模の天体観測会「スターウォッチング」の企画運営も担当している

高校入試を最優先にしなくてもよい分、将来の自分の専攻や職業観に直結するような、最終的に役に立つものをじっくり学べるころだと思います。

日々の教育で意識しているのは、「ん？これはなぜだろう？」と思ってほしいということです。まずそう思わないと、知った後のよるこびはありません。

「学びを楽しめる生徒」になるためのきっかけ作りや、生徒の世界を広げるお手伝いをこれからもしていきたいと思っています。

Strong Points

ICT / データ活用による学力マネジメント

本校は、生徒それぞれに学びのパターンがあると考えています。
教科の知識を習得する際にはICTも活用し、一人ひとりの学びの意欲が
起動するよう、しっかりとデータに基づいたコーチングを行います。



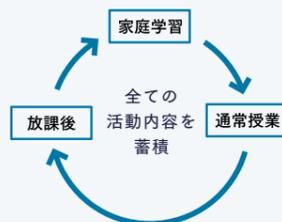
個人カルテ (オンライン・ポートフォリオ)の活用

日々の学習・活動履歴、出欠、成績などのデータをクラウド上で一元管理し、
可視化された内容をもとにフィードバックを行います。生徒個々の状況に
応じた学習サポート、きめ細やかな進路指導を実現します。



タブレット、PCを活用したICT教育

一部教科では、ICT教材を活用し、予習を中心とした効率的な家庭学習をおこないます。
その上で通常授業で問題演習を行い、着実に教科の知識の定着をはかります。また、放
課後は専攻ゼミや個別相談などで、応用学
力や+αのスキルの修得、苦手科目のカバー
に時間を使うことが可能です。



1週間の「マイプラン」制度

1週間に一度、前週の学習・活動履歴を振り返る時間が設けられます。そ
の際に次週の学習・活動予定(マイプラン)を自分で組み立てて提出します。
そして翌週にそのプランの達成度や進捗状況を確認することで、自身の学
びを定量的に分析する視点と、時間のマネジメント能力を養います。



AI学習ソフトを利用した 「個別レッスン」

本校ではスタンダードな学力を最短かつ確実に身につけるため、AI教材も
活用します。生徒は個々の学習進度・レベルに応じた「自分専用レッスン」
を日常的にこなすことで、自身の知識の伸長を実感。小さな「成功体験」の
積み重ねが主体的な学習習慣の獲得にもつながります。

After School Programs

放課後のバリエーション

生徒は、個人の目標や進路に沿って、放課後の過ごし方をアレンジできます。

専攻ゼミ

- ・国公立/医学部進学ゼミ(週3日)
- ・グローバルゼミ(週3日)
- ・Atama+ゼミ(週1日~)
- ・スタンダード進学ゼミ(週3日)
- ・プログラミングゼミ(週3日)

組み合わせは自由



※専攻ゼミと部活動の内容は予定であり、変更の可能性があります。

部活動

中学

文化系

- 理科部(週1日)
- 鉄道研究部(随時)
- 社会科部(不定期)
- 合唱部(週1日)
- 読書部(週1日)
- カルタ部(週2日)

運動系

- サッカー部(週2~3日)
- バスケットボール部(週2日)
- 軟式野球部(週2~3日)
- 卓球部(週2日)
- 陸上部(週2日)
- 女子バレーボール部(週2日)
- 硬式テニス部(週2日)
- ゴルフ部(週1日)
- 空手部(週2日) など

文化系

- 理科部(週3日)
- 鉄道研究部(週3日)
- マンガ研究部(週3日)
- 軽音楽部(週3日)
- 将棋部(週3日)
- クイズ研究部(週3日)

運動系

- サッカー(フットサル)部(週3日)
- バスケットボール部(週3日)
- バドミントン部(週3日)
- 弓道部(週3日)
- チアリーディング部(週3日)
- テニス部(週3日)
- バレーボール部(週3日)
- 陸上部(週3日)
- 水泳部(週3日)

(※1) 専攻ゼミ、部活動への参加は任意(希望選択制)となります。(※2) 中学では文化系と運動系の部活を兼部することが可能です。
(※3) ゼミの掛け持ちも可能です。(※4) 高校の運動部は競技コースの強化クラブとは異なります。

Various Seminars

履正社中高 オリジナルの 専攻ゼミ

多様な進路志望に応じて、専攻を選択することが
できます。曜日为重ならないければ、ゼミを掛け持ちすることも可能です
(ゼミの内容は予定であり、変更の可能性があります)。



国公立 / 医学部進学ゼミ (週3日)

東京大学、京都大学をはじめとした国公立大学
や国立医学部への入学を希望する生徒に特化した
進学ゼミになります。入学時から先取り学習
をスタートさせ、科目ごとに対策を行います。



スタンダード進学ゼミ (週3日)

放課後もしっかり学校で学び、目標とする大学
への現役合格を実現したい生徒へおススメの専
攻です。早慶、関関同立など難関私立大学に合
格するレベルを想定しています。



グローバルゼミ (週3日)

ネイティブ教員がオールイングリッシュで行う
課外授業です。英会話を中心に歌や映画、TED
を活用し、英語4技能を伸ばすことでTOEIC
やTOEFLのスコアアップにもつながります。



プログラミングゼミ (週3日)

2025年以降は大学入学共通テストに「情報」
の追加が検討されています。ゼミでは、プログ
ラミング言語「Python」の習得を最終目標に、
授業の枠を超えたスキルをみがきます。



Atama+ゼミ (週1日~)

全国の塾などで導入が進むAI学習教材を用い
た学習支援のゼミです。時間や場所を問わず、
効率的に学習を進められます。週1回、外部講
師による個別学習面談を実施します。

※専攻ゼミは原則無料です(一部、有料になる可能性があります)。

憧れから始まる探究

百聞は一見に如かず。日本を代表する公開研究施設や国立大学を見学することで、非日常に驚き、科学に興味を持った生徒は、自ら科学の本を読み、調べることを始めます。本校は早くから目的意識を持ってもらい、「心に火をつける」ことの重要性を強く意識しています。

サイエンスツアー

(左上から時計回りに) 京都大学岡山天文台、JAXA筑波宇宙センター(茨城県)、京都大学白浜水族館、京都大学芦生研究林、SPRING-8(兵庫県)



©理化学研究所

国立大学キャンパスツアー

(左から時計回りに) 東京大学、京都大学、大阪大学、神戸大学



海外姉妹校とのオンライン交流授業



本校では、姉妹校とビデオ会議アプリを活用したオンライン交流を行います。

4〜5人ずつの男女混成ツールを作り、互いの国の社会課題解決をテーマに国境を越えてディスカッションを繰り返し、アイデアを具現化。

最終授業では、プレゼンテーションを行います。同じ教室に外国人のクラスメイトがいるような環境を作り、日ごろの授業やゼミで学んだ英語スキルや言語技術能力を実践する場としても機能させます。

また、高校1年時には、約3週間の留学プログラムで現地で学ぶことも可能。高校2年時に、1年間の長期留学を選択することもできます。

※内容は予定であり、プログラムは変更の可能性があります。

Cross Curriculum

各教科の学びをつなげるクロスカリキュラム

社会に出れば、文理を問わず様々な知識を横断的に活用していくことが求められます。

しかし旧来の教育スタイルでは、各教科の学びが生徒のなかでは別々のものでつながらないため、その土台がなかなか築かれませんでした。そこで本校では先生同士が教科の枠を越えて一緒に授業を創り、生徒と一緒に答えを見つけていく「クロスカリキュラム」の実践を通して、探究的な学びを深めます。



高校部クロスカリキュラム授業例

	教科の組み合わせ	学習内容
5月	チームティーチング 物理×体育	「100mを速く走るには？」 100m走のタイムを数か所で計測。計測結果を基に、走るときに意識することを話しあい、ワークシートに記入し、実践。
10月	リレー形式 数学×物理×体育	「ボールを効率的に飛ばすにはどうしたら良いか？」 ボールを飛ばす角度や初速を変えた飛距離をパソコンでシミュレーションし、体育でバッティングマシンを用いて実践。
11月	チームティーチング 英語×化学実験	「身近な物質のpH」 英語で化学実験「中和滴定」に取り組み、表現の違いや共通点にも注目する(化学専門のALTを招へい)。
11月	リレー形式 数学×家庭	「ベストなスロープを提案しよう」 家庭科で学んだ「バリアフリー法」の基準を満たすスロープを三角比を用いて計算し、表現する。
12月	教科横断型ジグソー法 生物×科学×家庭×倫理×国語×保健	「バイオテクノロジーを考える」 生物の授業で実施。生徒が放課後等を活用して、バイオテクノロジー活用分野に関する教科担当者から関連内容を学び、再度、生物の時間に多角的な視点で情報共有。
12月	チームティーチング 英語×物理実験	「What is heat?」 英語で物理実験「ブラウン運動」に取り組み、表現の違いや共通点にも注目する(物理専門のALTを招へい)。

言語技術教育

履正社中・高では、あらゆる学力の土台を「言語技術」と捉え、6年間の積み上げ指導で、日本語を論理的に扱うスキルを高めます。このことは大学の総合型選抜入試や海外大学入試への対応にもつながります。

言語技術とは何か。

言語技術とは、適切なことばで人を説得するための「技術体系」であり、グローバルスタンダードな母語(国語)教育です。

実は日本の国語教育と諸外国の国語教育には、非常に大きな違いがあります。欧米では、国語といえば小学校から高校までの12年間で指導される「言語技術」のことであり、彼らはその土台の上に全教科の学びを積み上げています。国語は「技術」として認識されているのです。

それはどのような技術でしょうか？

たとえば一人の学生が社会に出た後、企業活動の中で日々求められるのは、プレゼンテーション、書類作成、交渉、質疑応答といった活動です。いずれにおいても、情報を分析して整理分類し、口頭や記述でわかりやすく論理的に提示する高い母語運用能力が

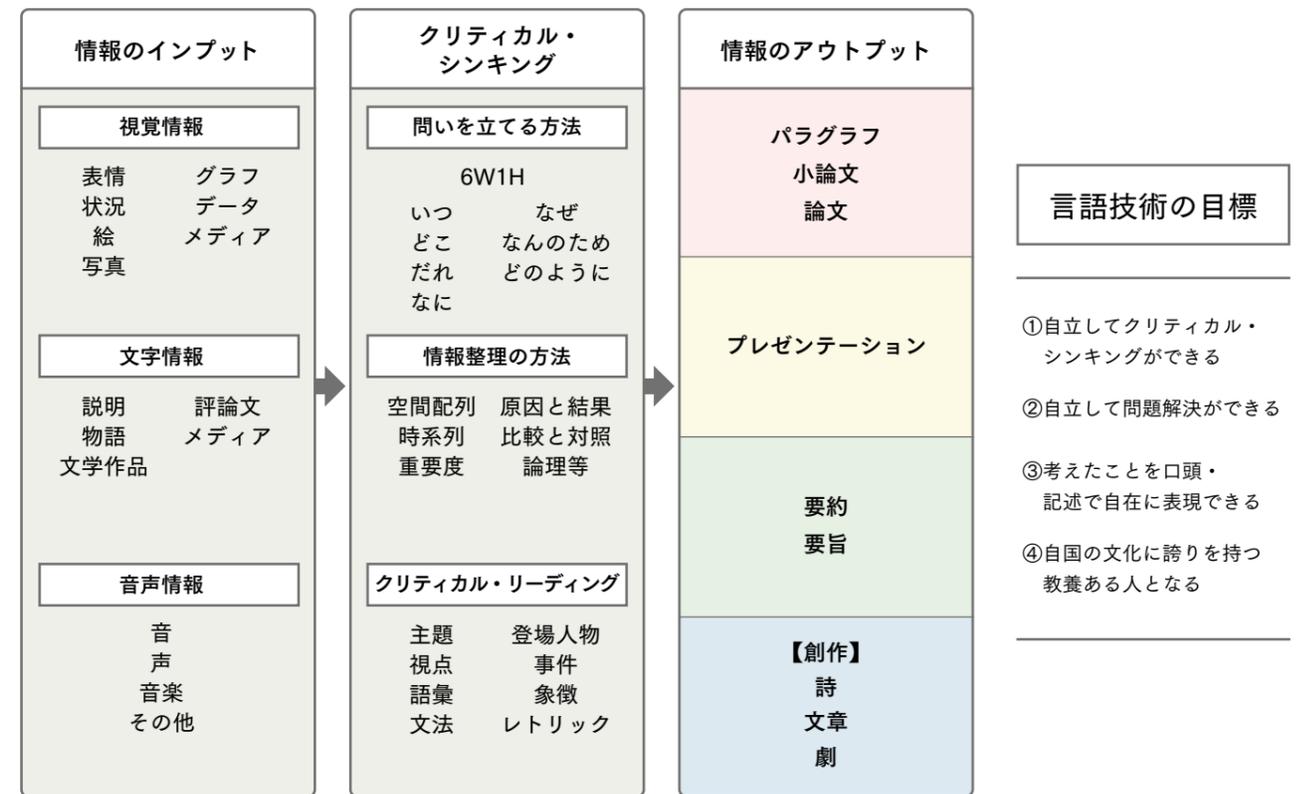
必要となります。

その能力の裏付けとなるのが「言語技術」であり、それを習得することが、国際社会に通用するグローバルスタンダードな母語(国語)教育なのです。

「言語技術」はたとえば対話や説明のトレーニング、記述の型を身につける訓練、絵画やテキストの分析などの活動を通じて徹底的に「読み」、「議論し」、「記述する」ことによって段階的に伸ばすことが可能です。

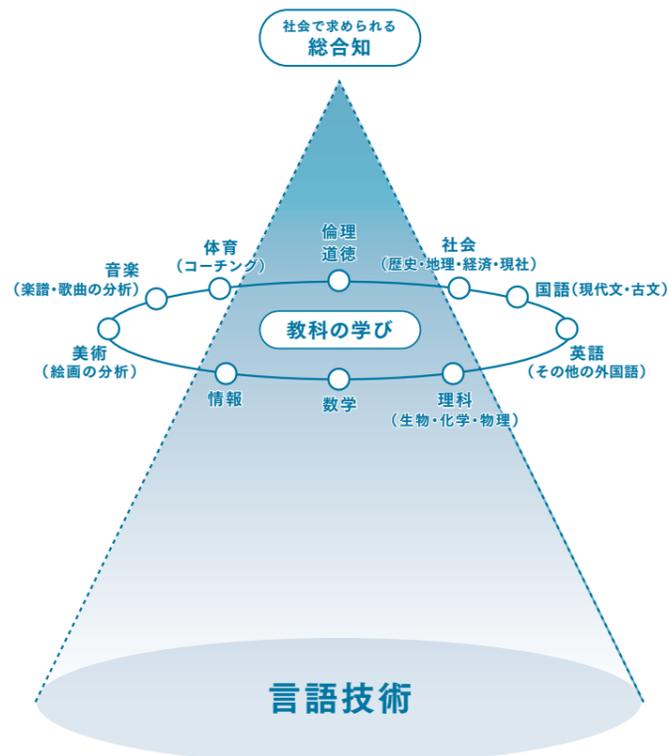
履正社中・高では、日本における言語技術教育の第一人者である「つくば言語技術教育研究所」の全面監修のもと、カリキュラム、教材、指導法のメソッドを確立し、「言語技術を伸ばす」ことを目的とした6年一貫教育を行います。

言語技術の概念チャート



© Tsukuba Language Arts Institute

今、言語技術が求められる理由とは。



令和3年4月に施行された「科学技術・イノベーション基本法」は、これからの社会課題に対応していくために、人文・社会科学と自然科学を含むあらゆる知の融合による「総合知」を育てていくという国の方針を示したものです。

変化の激しい時代の中で、現存の社会全体の再設計や、それを担う人材育成のためには、従来の文系・理系の枠組みを超えた総合的な学びが必要です。

そのような分野横断的な学びを得るための土台となるもの、それは言語を論理的に扱う力、つまり「言語技術」です。たとえば知識と知識をつなげる分析力と論理的思考力。あるいは必要な情報を相手に明瞭に正確に伝えるスキルなどです。

人は、考える際に必ず言語を使います。言語とは人間形成の核を担うものであり、言語技術を伸ばすことが、あらゆる教科の学力を本当の意味で身につけるための土台となるのです。

その土台を身につけるために、本校の中高一貫コースは「言語技術」を学校設定科目とし、体系的なカリキュラムに基づく指導を行っていきます。

6年間の体系的なプログラム。

言語技術を自動的に発動できるようになるために、欧米を初めとする国々では母語教育の指導内容を体系化し、スキルを積み上げる方式を取っています。

下の図は、主に「聞く・話す、読む・書く」の日本語4技能に絞って、言語技術教育の体系をまとめたものです。

「クリティカル・シンキング」と「情報のアウトプット」の能力を獲得するために、授業は極めて具体的な方法論の指導となります。

言語技術教育の体系

学年	中1	中2	中3	高1	高2	高3	社会に必要な言語技術の育成
聞く 話す	議論						
	ディベート						
	プレゼンテーション・発表						
読む	物語の構造、要約、物語、詩、戯曲、短編小説、長編小説、説明文、評論文、映画、絵画、メディア、クリティカル・リーディング(テキストの分析と解釈・批判)						
書く	再話、物語、説明文・記録文、報告文・描写文、議事録、アピール、分析文・要約文、原因と結果、比較と対照、論証文・意見文、レポート、小論文・論文						

出典:『ビジネスパーソンのための「言語技術」超入門』(中公新書ラクレ)

© Tsukuba Language Arts Institute

Face

卒業生の今

きかせて、先輩。

京都大学医学部を卒業し、外科医、そしてがんの研究者として活躍中の増井先輩。最近、医師の中でも合格率が2～3割という日本内視鏡外科学会の「技術認定医」の審査に合格し、ほっと一息ついたところだという。

「私が主に担当している胃や大腸など、消化器系がんの緊急手術の際には、内視鏡を使った腹腔鏡手術がよく行われます。お腹の小さな穴から入れたカメラを見ながら進めるので、出血量や、身体へのダメージが少ないのが特徴です」

子どもの頃から、山や海や川など自然の中で遊ぶのが大好きで、「手を動かすのが好き」だった増井さん。外科の手術は通常4～5時間、すい臓の手術などは12時間もぶっ通しで続くというが、全く苦にならないとか。

「手術中は全神経を集中させているので、1～2時間は一瞬で過ぎる感覚です。患者様の負担を考えると、手術は1秒でも早く終わりたい。常に最短経路を探しつつ、その時々状況によって模範解答を出し続けていきます」

外科医と患者様との接点は、手術だけではない。「がんの手術は術後の合併症のリスクもあるので、3～6

カ月に1度の定期診察を5年間続けていただきます。術前から含めると、長いつきあいになりますね。中には御礼の手紙を送ってくださる患者様もいて、自分の好きなことで人に感謝されるのは、とても幸せだと感じます」

履正社で過ごした6年間は、「熱血」の印象だという。「先生たち、全員熱血でした（笑）。カリスマ性があって、単純に教えるのが上手い。生徒を集中させる力がかなり強かったです。勉強と遊び、学校と塾。メリハリの利いた生活を送らせてもらって、充実していました」

増井さんには、今でも忘れられない言葉がある。「教室の前の黒板の上にかけてあったのが、『鍛錬千日、勝負一瞬』という言葉でした。外科医は、いつ手術に呼ばれるかわかりません。そのいざという瞬間に力を発揮できるよう、日頃の鍛錬が欠かせない。外科医にとって、かなり響く言葉だと思います」

今後は外科の世界で指導的な立場に就くことが目標、と語った増井先輩。人生は勝負の連続。履正社で培った向上心を胸に、今日も医の道を歩んでいる。

ますいひでゆき
増井秀行さん

Profile

1988年、大阪府生まれ。2000年に履正社の6ヵ年特進コースに入学し、06年京都大学医学部に入学。大阪赤十字病院、神戸市立医療センター中央市民病院での研修を経て、外科医の道へ。現在は京大大学院医学研究科消化管外科研究室で大腸がんの研究にあたる。趣味はドライブ

Hideyuki
Masui

